

令和6年度 武藏野市国民健康保険 保健事業

(第2期データヘルス計画に基づく保健事業の事業概要、目標及び実績)

1 特定健康診査	1
1-1 特定健康診査.....	1
1-2 特定健康診査未受診者対策.....	3
1-3 若年層健康診査受診勧奨.....	4
2 特定保健指導	5
3 生活習慣病重症化予防	7
3-1 糖尿病性腎症重症化予防.....	7
3-2 受診勧奨判定値超過者対策（旧 健診異常値放置者対策）.....	8
4 健康づくり	9
4-1 健診結果の見方講座	9
4-2 がん検診の必要性の周知	10
4-3 重複・多剤服薬への対応.....	12

1 特定健康診査

1-1 特定健康診査

(1) 目的・概要

被保険者の定期的な健診受診により、疾病の早期発見、早期治療につなげ、重症化を予防する(2次予防の推進)。

また、生活習慣病に関するメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)にも着目し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を目指す。

(2) 期間

* 令和6年5月から令和6年12月まで

(3) 実施方法

* 第4期特定健康診査等実施計画に基づき、40歳から74歳までの被保険者に対して実施する。なお、費用は無料とする。

* 対象者には4月末に受診票を発送し、被保険者本人が医療機関に直接予約を取り、受診する。

(4) 健診項目

(ア) 基本的な健診の項目

質問項目、身体計測、理学的検査、血圧測定、脂質検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査

(イ) 詳細な健診の項目

血清クレアチニン検査、心電図検査、眼底検査(眼科健診(有料)として実施)、貧血検査

(ウ) その他の血液検査

総コレステロール定量、血清尿酸、尿素窒素、CRP、総蛋白、血清アルブミン、ALP、

肝炎ウイルス検査(B型、C型)

(エ) 尿検査

(オ) 大腸がん検診

(カ) 上部消化管X線検査(バリウム)(65歳以上)

(キ) 胸部検診

(5) 目標

【ストラクチャー】

* 保険年金課: 対象者の抽出

* 健康課: 受診票の作成、送付

* 市内指定医療機関(武蔵野市医師会): 健康診査の実施

【プロセス】

* 4月: 「むさしの健康だより」による健診のお知らせ

* 4月末: 受診票の送付

* 5月: 市報掲載(5月1日号)

* 5月~12月: 健診受診期間

* 通年: ポスター、チラシ、ホームページ、SNSでの広報

* 通年: 人間ドックを予約した者への案内文書兼同意書の送付

* 特定健康診査未受診者対策及び若年層健診受診勧奨

【アウトプット】

特定健康診査受診率

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	48.5%	49.1%	49.7%	50.3%	50.9%	51.5%
実績値						

(参考) 受診者数、対象者数

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
受診者						
対象者						

人間ドック等データ提供数

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値				140 件/年		
実績値						

【アウトカム】

前年度健診受診者のメタボ該当者減少率

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値				25%減少(対前年度比)		
実績値						

1-2 特定健康診査未受診者対策

(1) 目的・概要

特定健康診査未受診者に対して、2次予防である健康診査の重要性を伝え、未受診から受診、さらに定期的な受診へつなげる。

(2) 期間

* 令和6年7月から令和6年12月まで

(3) 実施方法

* 一定期間健康診査の受診が見られない対象者に受診勧奨を行う。

(4) 目標

【ストラクチャー】

* 保険年金課:データの分析、抽出条件の設定

* 委託事業者:対象者の選定、通知方法の検討、通知発送等勧奨の実施、勧奨後の分析

【プロセス】

* 7~12月:受診勧奨の実施

【アウトプット】

対象者への受診勧奨率

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	100%					
実績値						

【アウトカム】

健康診査未受診者の勧奨後の受診率

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	実績を踏まえて設定					
実績値						

1-3 若年層健康診査受診勧奨

(1) 目的・概要

特定健康診査の対象となる前の若い世代(40歳未満)に対して、メタボリックシンドローム等の生活習慣病予防及び健康管理ができるように、若年層健康診査を実施している。被保険者へ受診勧奨を行うことで、若い世代からの生活習慣の改善や特定健康診査の40歳代の受診率向上を図る。

(2) 期間

* 令和6年4月から令和6年12月まで

(3) 実施方法

* 若年層健康診査の対象となる被保険者に若年層健康診査の受診勧奨を行う。

(4) 目標

【ストラクチャー】

- * 保険年金課: 対象者の抽出
- * 健康課: 受診券等の送付
- * 市内指定医療機関(武蔵野市医師会): 健康診査の実施
- * 委託事業者: 勧奨の実施

【プロセス】

- * 4月～12月: 若年層健診周知(ポスター、ホームページによる周知や窓口等による情報提供、勧奨ハガキの送付)
- * 7月～12月: 国民健康保険被保険者へ受診勧奨の実施
- * 4月～12月: 健康診査実施期間

【アウトプット】

39歳の被保険者の健康診査受診率

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	事業開始年度以降の値の増					
実績値						

【アウトカム】

40歳到達時の特定健康診査受診率

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	35%					
実績値						

2 特定保健指導

(1) 目的・概要

メタボリックシンドロームに着目し、特定健診の結果により生活習慣の改善が必要な者には特定保健指導を実施する。対象者自身が自らの健康課題に気づき、生活習慣(食事、運動、喫煙、飲酒等)を改善・維持するための自主的な取組みができるよう支援する。

(2) 期間

- * 令和6年6月から令和7年5月まで 初回面接
- * 令和6年7月から 特定保健指導の実施
- * 令和7年8月まで 保健指導実施者の報告

(3) 実施方法

- * 特定健康診査の結果、生活習慣病リスクの高い対象者に対する動機付け支援、または積極的支援の保健指導を行う。
- * 特定保健指導未利用者に対して、保健師等による保健指導の必要性を伝え、保健指導の利用によって自身の健康に関する意識の向上及び行動変容を促すこと、ひいては翌年度保健指導対象者にならないよう、保健指導利用が見られない対象者に利用勧奨を行う。

(4) 対象者

(ア) ステップ1

- * 腹囲と BMI で内臓脂肪蓄積のリスクを判定
 - 腹囲 男性 85 cm以上、女性 90 cm以上 →(ア)
 - (ア) 以外で、かつ $BMI \geq 25 \text{ kg/m}^2$ →(イ)

(イ) ステップ2

- * 検査結果及び質問票から追加リスクをカウント
 - ① 血圧高値 収縮期血圧 130mmHg 以上又は拡張期血圧 85mmHg 以上
 - ② 脂質異常 中性脂肪 150 mg/dl 以上又は HDL コレステロール 40 mg/dl 未満
 - ③ 血糖高値 空腹時血糖 100 mg/dl 以上又は HbA1c 5.6%以上
 - ④ 喫煙歴あり ①から③までのリスクが1つ以上の場合にのみカウントする

(ウ) ステップ3

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------|---------|
| ステップ1の結果が(ア)の場合、追加リスクが2以上 | →積極的支援 |
| ステップ1の結果が(ア)の場合、追加リスクが1 | →動機付け支援 |
| ステップ1の結果が(イ)の場合、追加リスクが3以上 | →積極的支援 |
| ステップ1の結果が(イ)の場合、追加リスクが1または2 | →動機付け支援 |
| ただし、65 歳以上の者については、QOL の低下予防に配慮した生活習慣の改善が重要であること等から、「積極的支援」に該当した場合でも「動機付け支援」とする。 | |

(5) 目標

【ストラクチャー】

- * 保険年金課: 対象者データの提供
- * 武蔵野健康づくり事業団: 保健指導実施

【プロセス】

- * 健診受診後: 利用券の発送
- * 7月～翌年6月: 初回面接
- * 8月～: 特定保健指導の実施
- * 翌年9月まで: 保健指導実施者の報告

【アウトプット】

保健指導実施率(終了率)

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	16.2%	17.2%	18.1%	19.1%	20.0%	21.0%
実績値						

【アウトカム】

前年度の特定保健指導の利用者数のうち、今年度保健指導対象外になった者の割合

(特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率)

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	→	→	→	→	→	35%
実績値						

3 生活習慣病重症化予防

3-1 糖尿病性腎症重症化予防

(1) 目的・概要

糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い者に対して保健指導を実施し、重症化や人工透析への移行を予防することを目的とする。

(2) 期間

* 令和6年5月から令和7年2月まで

(3) 実施方法

*「東京都糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、レセプト・健診結果から、糖尿病や腎機能低下者及び治療中断者を抽出し、糖尿病性腎症の重症化や人工透析の導入を防ぐための保健指導等を行う。

(4) 目標

【ストラクチャー】

- * 保険年金課: データの提供
- * 武蔵野健康づくり事業団: 電話による再勧奨、保健指導対象者への保健指導
- * 委託事業者: 対象者の選定、治療中断者宛て受診勧奨通知の発送

【プロセス】

- * 5月: 対象者データの抽出
- * 6月: 武蔵野市医師会と保健指導対象者の選定、かかりつけ医への事業への協力依頼
- * 6月: 武蔵野健康づくり事業団から対象者へ案内文書を送付
- * 8月~: 保健指導の開始

【アウトプット】

治療中断者への受診勧奨率

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	100%					
実績値						

保健指導参加者数 20人/年

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	20人/年					
実績値						

【アウトカム】

保健指導参加者の検査数値(eGFR)の改善率

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	100%					
実績値						

3-2 受診勧奨判定値超過者対策（旧 健診異常値放置者対策）

（1）目的・概要

ハイリスクのある者を早期発見・早期治療へ結びつけるとともに、高血圧症や糖尿病等の生活習慣病予防につなげることを目的とする。

（2）期間

* 令和6年4月から令和7年3月まで

（3）実施方法

* 健診データ、レセプトデータ等から、健診結果に異常があり、一定期間医療機関に受診が見られない者に対して、医療機関受診の勧奨通知を発送する。

（4）対象者

* 前年度の特定健診の結果から、血圧、血糖、脂質に関する値が、医療機関受診勧奨値を超えており、かつ、特定健診受診後に一定期間医療機関の受診が確認できない者

（5）目標

【ストラクチャー】

* 保険年金課:データの提供

* 委託事業者:対象者の抽出、受診勧奨通知の発送、受診状況の確認、電話等による再勧奨

【プロセス】

* 4月～6月:対象者のデータ抽出

* 7月～1月:受診勧奨、勧奨後の受診状況の確認、再勧奨

【アウトプット】

対象者への通知発送率

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	100%					
実績値						

【アウトカム】

受診勧奨後の医療機関受診率

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	5%					
実績値						

4 健康づくり

4-1 健診結果の見方講座

(1) 目的・概要

健診結果から自身の健康状態を理解し、必要な生活習慣の改善に取り組むためのきっかけづくりの場とするとともに、特定健康診査の定期的な受診の重要性を伝え、受診率の向上につなげる。

(2) 期間

* 令和6年9月から令和7年2月まで 計5回

(3) 実施方法

* 健康診査の基本項目のうち、生活習慣病に関する項目を中心とした説明、食生活や身体活動による生活習慣の改善のポイント等に関する講座を実施する。希望者に対しては個別相談を受ける。また、特定保健指導対象者には初回面談の実施を促す。

(4) 目標

【ストラクチャー】

- * 保険年金課:企画・立案への参画
- * 武蔵野健康づくり事業団:企画・立案、参加者募集・講座開催等

【プロセス】

- * 年5回:参加者募集、講座開催等

【アウトプット】

参加者の延べ人数

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	100人/年					
実績値						

【アウトカム】

講座受講後に生活習慣を改善したいと思う者の割合

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	100%					
実績値						

4-2 がん検診の必要性の周知

(1) 目的・概要

がんを早期に発見することにより、早期治療を促し、健康の保持増進に寄与すること、及び各がんに対する正しい知識の普及を通じた、がん検診の必要性に関する被保険者への情報提供を行い、検診受診率の向上を図る。

(2) 期間

* 令和6年4月から～令和7年3月まで

(3) 実施方法

* 胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん及び子宮(頸)がんの各検診について、健康課と連携してポスター、ホームページによる周知や、国保被保険者を対象とする他事業を活用した受診勧奨等による情報提供、受診勧奨を行う。

(4) 目標

【ストラクチャー】

- * 保険年金課:被保険者へのがん検診の情報提供・受診勧奨
- * 健康課:受診券等の送付、受診勧奨の実施、広報による周知等
- * 武蔵野市医師会、武蔵野健康づくり事業団:実施機関

【プロセス】

- * 4月:「むさしの健康だより」による周知
- * 通年:対象者への受診券等の送付、がん検診ガイドの配布
- * 通年:国民健康保険被保険者への情報提供、受診勧奨
- * 通年:各種検診実施

【アウトプット】

がん検診の情報提供の実施件数

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	10,000 件/年					
実績値						

【アウトカム】

国民健康保険被保険者がん検診受診割合

胃がん

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	→	→	→	→	→	12%
実績値						

肺がん

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	→	→	→	→	→	12%
実績値						

大腸がん

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	→	→	→	→	→	54%
実績値						

乳がん

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	→	→	→	→	→	32%
実績値						

子宮がん

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	→	→	→	→	→	46%
実績値						

4-3 重複・多剤服薬への対応

(1) 目的・概要

薬の副作用等により被保険者への身体の負担になることに加えて、医療費にも影響が生じるため、医師の指導に基づいた適正な服薬をすることが重要。このような状況の被保険者に対し、通知の送付、電話勧奨、保健指導を通じて適正な服薬への誘導を図る。

(2) 期間

* 令和6年7月から令和7年3月まで

(3) 実施方法

* レセプトデータから対象者を抽出し、通知を送付し、希望者に保健指導を行う。複数の条件に合致する等の優先度が高い者に対しては、電話による勧奨を行う。

(4) 目標

【ストラクチャー】

* 保険年金課: データの提供
* 委託事業者: 対象者の抽出、対象者宛て適正服薬に向けた通知の発送、電話勧奨、保健指導

【プロセス】

* 7月: 健康相談事業の案内・服薬情報のお知らせを送付
* 8月～: 電話支援、健康相談事業(保健指導)の実施

【アウトプット】

対象者への通知勧奨率

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値			100%			
実績値						

【アウトカム】

適正服薬指導対象者の維持・減少

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
目標値			維持・減少			
実績値						